

2026 サーラ孀恋公民館講座

演題 小串鉦山とその時代

講師 群馬県立沼田高等学校教諭 島田 翔太 先生

日時 5月24日（日）10時00分～11時00分

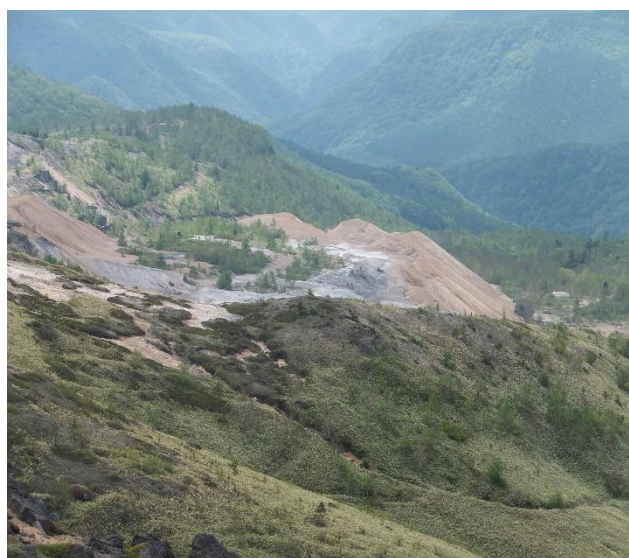
会場 サーラ孀恋 大ホール

参加料 無料（先着200名）

かつて、群馬県の最奥・標高2,100メートルの峻険な山岳地帯しゅんけんに、2,000人以上が暮らす「雲上の都市」がありました。それが小串鉦山です。

硫黄の採掘で日本の近代化を支えたこの地には、学校や映画館、商店街が立ち並び、厳しい自然環境の中に活気あふれるコミュニティが築かれていました。しかし、1937年（昭和12年）の国内最大級の山津波（大規模土砂災害）という悲劇、そして時代の波とともに、その役目を終えて静かに歴史の表舞台から姿を消しました。

本講座では、当時の貴重な写真や資料をひも解きながら、小串鉦山が歩んだ栄華と衰退、そしてそこで力強く生きた人々の暮らしを辿ります。失われた「天空の街」の記憶を、現代の視点で見つめ直してみませんか。



【お問い合わせ先 サーラ孀恋 事務所 0279-82-1367】